

# 目次

- [概要](#)
- [前提条件](#)
- [要件](#)
- [使用するコンポーネント](#)
- [表記法](#)
- [サンプル スクリプト](#)
- [関連情報](#)

## 概要

このスクリプトは serverAddress に PING を送信します。アドレスが応答しない場合、スクリプトは終了し、サービスに停止状態/ダウンのフラグを付けます。サーバが稼働中でもすべてのポートがダウンしている場合、サーバは、停止状態/ダウンとしてマーキングされます。サーバの仮想ポートのそれぞれがテストされます。いずれかのテストが失敗した場合、メッセージがログに記録されますが、サービスがダウンしているとマーキングされません。またこのドキュメントでは、スクリプト キープアライブの実装についても説明します。このスクリプティング方法は、リモート アクセス サーバ (RAS) のダイヤルアップ クライアント、ターミナル プログラム、および一般的なスクリプト ユーティリティに存在する機能と密接に関連しています。この機能は、WebNS の豊富なスクリプト言語を使用します。

簡単なソケット Application Program Interface (API) と (接続して下さい/接続解除/送信/受信)、スクリプト キープアライブ与えるかユーザに自身のプロトコルを合わせる機能をまたはサービスの信頼できる ALIVE DOWN 提供するために書きますステップの自身のシーケンスを完了して下さい。スクリプト キープアライブ 機能性なしで、FTP、HTTP、ICMP および TCP に現在制限されます。ただし、スクリプト キープアライブとあなた自身のスクリプトを書くとき現在のプロトコルの上に残ることができます。たとえば、WebNS が KeepAlive型 POP3 を構築するように要求しないで POP3 サーバに接続するためにとりわけある調子を与えられるスクリプトを開発できます。この機能は顧客が特定の必要条件に適するために自身のカスタム キープアライブを作成することを可能にします。これが Content Services Switch (CSS) のコンポーネントであるが、カスタムスクリプトはテクニカル サポートによってサポートされません。

この資料のスクリプト キープアライブはテクニカル サポートによって公式のサポートを提供されないし、テストされ、あなた自身の思慮分別で利用可能です。

## 前提条件

### 要件

WebNS リッチ スクリプト言語の習熟度。

### 使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- WebNS バージョン 3.x 以上
- CSS 11x00 シリーズ

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

## [表記法](#)

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

## [サンプル スクリプト](#)

このスクリプトが serverAddress を ping するのに使用することができます。

## [関連情報](#)

- [CSS 11000 シリーズ コンテント サービス スイッチのハードウェア サポート \(英語\)](#)
- [CSS 11500](#)
- [CSS11500 のためのソフトウェアダウンロード](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)